

2～3月の新規認定22件 1～3月の合計で40件に

道本部労災職業病部会は1～3月の新規認定数をまとめました。新規認定は1～3月の合計で40件（振動障害23・じん肺2・じん肺遺族補償4・騒音性難聴11）で、このうち2月16日～3月では22件（振動障害13・じん肺遺族補償2・騒音性難聴7）です。

また、3～4月に苫小牧、千歳、旭川、富良野、名寄、留萌、帯広、余市、小樽、美幌で「健康相談会（建退共・職業病相談会）」が開かれ、68人からの相談を受けました。1～3月に労災申請などの要求で31人（2月16日～3月では14人）が建交労に加入しています。

札幌地域支部で2人が加入

札幌地域支部では、定年で退職した分会の組合員2人が支部に直接加入することになりました。

函館運送支部で賃上げ回答 本採用 2,300 円(前年妥結額は 1,000 円)

函館運送支部は2月27日に「平均30,000円以上の賃上げ」をはじめとする要求書を提出していましたが、4月10日の団交で第1次回答が示されました。回答は、本採用2,300円（昨年の妥結額1,000円）、58歳到達者1,350円（同600円）、東京嘱託1,840円（同800円）、臨時従業員1,840円（同800円）で、大きな前進をみました。なお、夏季一時金要求は平均60万円で、このほかに諸手当（車両運転手当・住宅手当・地域手当など）の改善、労働時間短縮、定年延長と退職金改善、過重・過密労働をなくすための必要人員の確保、休暇制度の改善、職場環境の改善なども要求しています。

春闘・夏季一時金闘争などの状況を道本部にお知らせください

北海道知事選挙 石川候補は及ばず 札幌市長選挙で渡辺候補が善戦

4月7日に投開票された北海道知事選挙で、「市民と野党の統一候補」石川ともひろさんは963,942票を獲得しましたが、自公の推す鈴木直道候補（1,621,171票）に及びませんでした。

札幌市長選挙では、「市民主権を実現する会」の渡辺たつお候補が264,008票と約3割の得票を得て、自公も相乗りした現職の秋元克広候補（634,365票）を相手に善戦しました。